

令和6年4月門川町臨時教育委員会会議録（概要版）

- 1 日 時 令和6年4月30日（火） 午前9時27分～午前11時16分
- 2 場 所 庁議室
- 3 出席委員 金子文雄教育長、新名章教育長職務代理者、黒木昌代委員、金丸眞委員、
山倉照子委員
- 4 事務局 大澤教育課長、黒木教育課長補佐、川越教育課長補佐
- 5 議 事 令和6年度学校経営説明（各学校長）

6 議事の概要

（1）開会（午前9時27分）

（2）教育長あいさつ

本日の臨時会では、各学校の学校経営案を説明していただき、一年の始まりとして、もう一度気を引き締めてスタートしたいと考える。学校経営は校長の手腕にかかっている所以、それぞれの様子を捉えながら方向性をしっかりと定め、学校が勢いよくスタートできるように舵取りをお願いしたい。また、本日の発表についてお互いに情報交換ができればありがたい。

（3）議事

令和6年度学校経営説明（各学校長）

門川小学校 中田校長が資料を用いて説明

○金丸委員

子ども自身が自分を肯定できる子に育つことができれば、自信がつき、何事もいい方向に向かうだろう。目標の達成を期待している。

○黒木委員

重点目標に「心いっぱい」とあるが、私も先日の入学式で「心いっぱい」になった。みずみずしい心を持った1年生とそれを迎える6年生の対比を見て成長していく子どもたちを想像し、教育の大切さを感じた。頑張る気持ちを持っている子どもたちを励ましてあげて欲しい。

○新名委員

一つ目に、重点目標の一番目に「生徒指導の充実」を持ってきたことに同感である。ハートフル委員会の取組が、今後生徒指導の要になればと考えている。また、「徹底と継続」を学校経営に対するスローガンとして掲げているが、「徹底すること」が一番大事だと思う。先生方には是非、ひとつでいいので一年間子どもたちに徹底して取組ませ一年経った時に身に付いたと言える学級経営をしていただきたい。

二つ目に、夢や希望を持って新たな気持ちで転入された先生方が多いと思うので、その思いを是非子どもたちに伝えていただきたい。目標とする学校経営のねらいを達成できることを期待している。

○山倉委員

説明を聞き、勢いの風を感じた。応援している。

●金子教育長

数値目標を設定することで目標の見える化を図り職員間の共通理解を進めていく方向性は良いと思う。生徒指導を柱にしつつ学力向上との両輪で進んでいくものと思っているが、スタートダッシュに力を入れていることに期待が持てる。シンプルに「学校が楽しい」と言える子どもたちが増えることを楽しみにしている。また、一部教科担任制についてもアイデアを出し合い取り組んでいただきたい。生徒指導の柱と学力向上の柱がうまく機能していくことが理想的であるが、このスタートダッシュで固めることで大きく成長できる一年になるのではと楽しみになった。

●中田校長

一部教科担任制の活用により、大変な学年の職員を一人にせず複数人で対応するという取組を一年間続けていきたい。

草川小学校 鈴木校長が資料を用いて説明

○金丸委員

先生は礎の人であり、先生方がいなければ学校は成り立たないと思っている。今後も子どもたちを良い方向に導いていただきたい。

○黒木委員

先生のワクワク感が伝わってくる。子どものために、保護者のために、地域のために思う存分やりたいという気持ちが周りの方々を巻き込んで良い方向に行くことを願っている。

○山倉委員

学校に協力していきたい。

○新名委員

学校で子どもたちに教えるということは、その子どもたちが大きくなり大人になっていくことへの使命である。社会に出てもコミュニケーションが取れ、誰に対しても自分の思いが言えるような大人に子どもたちを育てていく具体的な経営方針が述べられているので、これからを楽しみにしていきたい。

●鈴木校長

職員の子どもたちに対する熱量が想像の何倍も感じられる。集会等においては、しっかり先生の話聞く子どもたちとそれに答える先生たちの姿が見られるものの、授業中はまだまだだと感じている。今後ともご指導をお願いしたい。

●金子教育長

「弁が立つ子」「まじめな子」「命を大切にする子」など校長の思いがワードとして上がっているので、いろんな形で変化していく草川小学校に期待ができる。維持する必要は全くなく、新たな成長に繋がる学校経営をしていただけるとありがたい。

五十鈴小学校 藤川校長が資料を用いて説明

○金丸委員

ピンチをチャンスに変え、保護者との信頼関係をより厚く結べるような環境づくりをお願いしたい。学力の面で上がってきている様子なのは先生方の力があってこそのことだと思うので、今までどおりの指導をお願いしたい。

○黒木委員

昨年を振り返ると、地区と学校が近いと感じた。地域の方との距離感を大切にしながら信頼関係を築いていって欲しいと思う。地域の児童が「担任が大好き、クラスが大好き」と話しているのを聞いて嬉しく思い、先生と子どもたちとの関係の良さがうかがえた。先生方には自信をもって教育に携わっていただきたい。

○山倉委員

実践事項にある「幼・保・中・高との連携を図った教育活動の充実」について期待している。

○新名委員

「確かな学力の定着」を図るための先生への指導は、すべての先生に同じように浸透させるのは難しいことだが、授業力向上の支えになるのがメンターチームだと思う。先輩の先生方が培ってきたものを若い先生方に伝えていく、または情報交換をする場が多くあるともっと力がついていくだろう。また、「かどがわ学びのサイクル」の中では、どのように見届け指導を行うかが非常に大事だと思う。家庭学習の後、一人一人の学習状況をチェックできるとより学力の向上につながると思うので、見届け指導を念頭に置いた学びのサイクルを継続していただけるとありがたい。

●金子教育長

授業を大事にして、課題を明確にして取り組んでいる様子が非常に良いと思う。素晴らしい学力向上の成果につながっている。校長の言葉にもあったように信頼回復を図る一番の方法は良い教育をしていくことだと思うので、これからも頑張っていただきたい。五十鈴小らしさを今後も発揮していくことを期待する。

●藤川校長

信頼回復の一番は子どもたちが生き生きする学校であることだと改めて思ったので頑張っていきたい。

門川中学校 日高校長が資料を用いて説明

○新名委員

中学校の指導は小学校からの継続であり、三つの小学校から集まって来た生徒の指導となるため、非常に大変だと思う。働き方改革もあるだろうが、生徒指導の面から言えば、時間を惜しんででも子どもたちに向き合い、保護者に向き合う姿勢があれば、大きな問題があっても子どもたちは先生たちについて行こうと思うのではないかな。先生方には指導しようとする姿を受け取ってくれる子どもがいることを学んで欲しい。また、部活動など授業を離れた場所で語り合える関係も大事であり、そのように子どもたちに向き合っていくことが生徒指導の改善につながり、学力向上につながると思う。先生方の対応には頭が下がる思いだが、子どもの「寂し

い」「もっと愛情を受けたい」という感情が先生にぶつけられている感じがするので、子どもの思いを受け止めていただきたい。先生方が潰れない学校経営を望む。

○黒木委員

子どものサポート体制はあるが、現場の先生方のメンタルサポートはどのようにしているのか。

●日高校長

管理職だけでケアしていくのは難しい状況であるが、昨年度からは職員全体でケアができてきていると感じている。今後は学校カウンセラーの活用等も考えている。

○黒木委員

どんな子どもたちも、あるきっかけをもって気付きがあり、自分なりに考えていく時期が来ると思う。長い目で指導、励ましをしていただきたい。

○金丸委員

管理職を含め先生方の関係がとても良いと感じる。その雰囲気が学校の雰囲気となり、子どもたちに伝わるのだと思う。子どもとの接し方を先生が先生を見て学ぶ事も、特に若い先生方には必要だと思うので、校長先生がリードして先生方を教育する場面があってもいいと思う。子どもたちへの接し方が少しずつでも変わっていけば、子どもたちの授業態度が変わり、学力向上にもつながっていくと思うので、今の姿勢を貫いて頑張っていきたい。

○山倉委員

昨年から書道連盟が草川小学校に書道ボランティアとして行かせていただいている。今後はすべての学校にボランティアとして行かせていただきたい。地域からのお手伝いできればと考えている。

●金子教育長

キャリア教育の目標は義務教育の最終段階である中学校の目標が目指すべき目標であると思っている。小学校では、中学校が目指す姿をゴールだと思って意識しながら小中連携を図っていただきたい。本町で言えば門川中の教育を中心にしていけばいいと思う。これまでの先生方が築いてきた中学校が今ここにあり、その前提には小学生をしっかりと送り込んできた小学校の姿がある。ボランティア活動や防災士、SPSのグループなど、しっかり頑張っている子どもたちが活躍できる中学校であってほしい。また、子どもたちの夢や希望が実現できる学校であってほしいと思う。「継続と徹底」で頑張っていただけるとありがたい。

(4) その他

●金子教育長

二つ、校長先生方をお願いしたい。

一つは人材育成について、子どもたちだけでなく先生方を育てること、先生方が本町を出ていかれる際に次の目標を持って頑張ってくれるような人を育てる視点を持って取り組んでいただきたい。

二つ目に、自分がいつも心がけていることでもあるが「教育で地域を変える」という気概を持っていただくことが大事だと考える。30年後、おそらく門川町も大きく変わっているだろう

うが、そのひとつの力として教育の役割を果たしていただきたい。住みよい門川町を作っていくことは教育の一つの役割だと考えているので是非意識して一緒に取り組んでいただきたい。

最後に、特に管理職の皆さんにはコンプライアンスの意識を常に持ち続けていただきたい。また今回説明していただいた計画をひとつずつ実現していただけるとありがたい。

(5) 閉会（午前11時16分）